

2026 年度 経済学科 リフレクション入試【面接重視型】課題について

課題

現在の日本経済が抱える問題について一つを選び、その原因や解決策について、あなたの考えを 800 字以内で述べてください。その際、あなたの主張の裏付けとして、何らかの統計資料(表やグラフ)を最低一つ提示してください。表やグラフの作成については、以下の「作成上の注意事項」の(4)を参照してください。

作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもあります。

- (1) 作成に当たっては、用紙への記入は「手書き」でも「パソコンで作成したものを貼り付ける」のどちらでもかまいません。パソコンで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
- (2) 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも自分の言葉で書いてください。
- (3) 課題文の作成に当たって、生成AIによって得たアイデアや表現を自身の理解に基づいて利用することは認めます。ただし、生成AIから出力された文章をそのまま書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。
- (4) 表やグラフは、本文のあとに1ページに収まるように作成してください。手書きでも、何らかの素材をプリントアウトしたものでもかまいません。貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。表やグラフの出所の示し方は、以下の(7)にある参考文献の提示の仕方を参考に、表やグラフの下部に明示してください。
- (5) 自分の考えについては、どのようにすれば改善されるか、今後の日本経済はどのようなのかといった事柄を自分の言葉でまとめてください。課題に対する解答は一つだけではありません。自由な発想であなたが考えたアイディアとその理由をまとめてください。

(6) 取り上げた問題について、すでに何らかの対策が実施されている場合は、その対策にもかかわらずなぜ問題が解決していないのかという点についても考慮してください。例えば、少子化や人口減少という問題を取り上げたとき、すでに児童手当などの対策が実施されていますが、少子化はむしろ進行しています。児童手当などの対策では問題が解決していません。こういった点も考慮したうえで、その原因や解決策についてあなたの考えを述べてください。

(7) 課題を行うに当たって用いた資料や図表の出所の一覧を用紙の最後のページに参考文献として必ず記入してください。参考文献は本文の800字には含みません。記入の仕方は以下の通りです。

参考文献

(新聞の場合) 『北海道新聞』, 2015年12月31日付朝刊.

(図書の場合) 森嶋通夫, 『思想としての近代経済学』, 岩波新書, 1994年.

(教科書の場合) 「政治・経済」, 三省堂.

(HPの場合) 環境省「環境経済成長ビジョン～チャレンジ25を通じた経済成長～」,
<http://www.env.go.jp> (ホームページアドレスは.....jpまでを記入すること)

(8) 課題文が完成したら、提出前にコピーをとっておいてください。そして課題文のコピーを、試験日に持参してください。試験では、課題文についても質疑応答を行ないます。その際、書かれている内容について答えられないなど、自身で文章を書いたかどうか疑義が生じた場合は、課題文も大きく減点されるので注意して下さい。

課題に関する質問の受付

課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員へ直接問い合わせたい場合は、10月1日(水)から3日(金)までの期間に下記のメールアドレスから質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「リフレクション入試課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合わせ先: tomoya@sgu.ac.jp

※経済経営学部経済学科の山田(やまだ)智哉(ともや)が対応します。携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしていると、山田からのメールを受信できませんので設定を変更しておいてください。